

## 刊 行 の 辞

天平勝宝八歳、聖武天皇が崩御遊ばされてから今年は千二百年、又同天皇七七忌に光明皇后が御遺愛品を中心に数数の珍宝を東大寺盧舎那仏に献納遊ばされ正倉院宝物の濫觴を作られましてからも千二百年に当りますので、六月七日宮中皇靈殿及び奈良の佐保山南陵に於て式年祭が挙行され、同二十一日には正倉院に於てその記念式を挙行することになつて居ります。この記念事業の一環として書陵部紀要の正倉院特集号刊行を企劃しましたところ、幸い正倉院に関し深い学識を有せられる各位の寄稿を仰ぐことが出来、その実現を見るに至りましたことは私共の衷心歓びとする所であります。

申すまでもなく正倉院は独り我が国文化の誇りであるのみならず、実に全人類の貴重な文化遺産でありますので、これが永久保存の爲にはあらゆる方途を講じなければならぬのでありますが、他面一般世人の鑑賞と研究の機を得る爲適度の公開をすると同時に、學術的調査研究も亦必要欠くべからざることでもあります。以前にも宝物の展観及びその整理、修補、調査等或程度は行われて居つたのでありますが、近來それらのことは著しく進展致しました。即ち昭和二十一年以降奈良博物館では連年正倉院展が開かれ、昭和二十四年には東京博物館で展観が行われました。又宝物の写真頒布は従來も行われて居りましたが、更に最近天然色スライドの作成を開始し一般の便に供しようとして居ります。學術調査も昭和二十三年以降學界各方面の權威者により活潑に推進せられ、藥物、古裂、樂器、金工品、密陀絵、漆芸品の調査及び各宝物の材料調査が行われました。本特集号の如きも実にその貴重な成果と申すべきでしょう。今後益々各種の調査を実施する予定であります。

従來正倉院裂の未修理のものと、修理完了のものとを収蔵しておりました仮庫は永久性がなく又狹隘を告げるに至りましたので、これを收納するため昭和二十八年には不燃性の新宝庫が建設され、その結果も良好なので最近一部の宝物を移納致しました。又正倉院裂、古文書、經卷等を整理し修補する修理室、宝物の消毒殺虫をする低圧殺虫機室、写真室、研究室等を含む保存修理室も昭和二十九年完成致しました。今後正倉院の調査、研究は飛躍的發展を遂げるものと確信致します。

この何物にも代え難く貴重な正倉院を過なく永久に保存し一般の認識を深めると同時に學問芸術の進展に貢獻することの出来ますよう各方面の御理解と御協力を仰ぎたくこの機会に呉興も御願ひ致す次第でございます。

昭和三十一年六月

書陵部長 三 井 安 彌

# 書陵部紀要第七号 正倉院特集 目次

|                        |      |       |
|------------------------|------|-------|
| 刊行の辞                   | 三井安彌 | (1)   |
| 正倉院校倉屋根内部構造の原形について     | 浅野清  | (5)   |
| 正倉院の御物鏡について            | 梅原末治 | (19)  |
| 正倉院宝庫の薬物               | 渡邊武  | (30)  |
| 南倉和琴の所謂瑠璃画について         | 林謙三  | (49)  |
| 瑠璃画の復原について             | 松村政雄 | (69)  |
| 南倉和琴の瑠璃絵の技法            | 松田英藏 | (79)  |
| 犀円文錦について               | 和田軍一 | (95)  |
| 正倉院はいかに守られたか           | 和島順正 | (105) |
| 献物帳所載の御物と現存品について       | 松島包夫 | (116) |
| 題名・調卷形式より見た聖語蔵大智度論について | 松本順正 | (131) |
| 正倉院御物銘文集               | 松本包夫 | (149) |
| 正倉院年表                  | 松本包夫 | (149) |

# 図 版 目 次

- |     |                                        |                            |                              |
|-----|----------------------------------------|----------------------------|------------------------------|
| 第一  | 天平勝宝八歳六月二十一日献物帳卷首                      | 第三                         | 南倉檜和琴・金箔押瑠瑠板・表板貼付瑠瑠画         |
| 第二  | 天平勝宝八歳六月二十一日献物帳部分・巻尾                   | 第四                         | 南倉檜和琴・碁の大小区劃と瑠瑠板瑠瑠画の剝落痕の現状   |
| 第三  | 宝庫の交木                                  | 第五                         | 南倉檜和琴瑠瑠画(裏面)                 |
| 第四  | 宝庫屋根裏 <small>(中・北倉場の大梁南面)</small>      | 1 山水禽獸 <small>(虎と)</small> | 2 花鳥 <small>(鶏)</small>      |
| 第五  | 宝庫屋根裏 <small>(北倉南の間東下より二の母屋西面)</small> | 3 山水禽獸 <small>(虎と)</small> |                              |
| 第六  | 宝庫屋根裏 <small>(南倉中の間北の東側東西面)</small>    | 4 山水禽獸 <small>(虎と)</small> | 5 山水禽獸 <small>(虎と)</small>   |
| 第七  | 二面の平脱鏡の対比                              | 6 花鳥 <small>(花)</small>    | 7 花鳥 <small>(鶏)</small>      |
|     | 漆背金銀平脱八角(八花)鏡 <small>(正倉院御物)</small>   | 8 花鳥 <small>(花)</small>    |                              |
| 第八  | 中国出土の螺鈿鏡                               | 9 花鳥 <small>(白)</small>    | 10 花鳥 <small>(白)</small>     |
|     | 螺鈿鴛鴦宝相華文八花鏡 <small>(白鶴美術館藏)</small>    | 11 山水禽獸 <small>(虎)</small> | 12 山水禽獸                      |
|     | 螺鈿花鳥文八花縁鏡 <small>(美奈氏藏)</small>        | 13 花鳥 <small>(花)</small>   | 14 花鳥 <small>(鳥)</small>     |
| 第九  | 藥物 1 麝香 <small>(帳外麝香皮)</small>         | 2 小草                       | 3 胡椒                         |
|     | 4 奄麻羅                                  |                            |                              |
| 第一〇 | 藥物 5 阿麻勒                               | 6 黒黄連                      | 7 理石                         |
|     | 8 似竜骨石                                 |                            |                              |
| 第一一 | 藥物 9 人参 <small>(帳外竹節人參)</small>        | 10 鬼臼                      | 11 紫欽 <small>(帳外紫柳)</small>  |
|     | 12 檳榔子                                 | 13 阿梨勒                     |                              |
| 第一二 | 藥物 14 防葵 <small>(或は狼毒(右左帳外青木香)</small> | 15 芒消                      |                              |
|     | 16 冶葛 <small>(帳外烏藥之屬)</small>          |                            |                              |
| 第一三 | 南倉檜和琴・金箔押瑠瑠板・表板貼付瑠瑠画                   | 第一四                        | 南倉檜和琴・碁の大小区劃と瑠瑠板瑠瑠画の剝落痕の現状   |
| 第一四 | 南倉檜和琴瑠瑠画(裏面)                           | 第一五                        | 南倉檜和琴瑠瑠画(裏面)                 |
| 第一五 | 1 山水禽獸 <small>(虎と)</small>             | 2 花鳥 <small>(鶏)</small>    | 3 山水禽獸 <small>(虎と)</small>   |
| 第一六 | 4 山水禽獸 <small>(虎と)</small>             | 5 山水禽獸 <small>(虎と)</small> | 6 花鳥 <small>(花)</small>      |
|     | 7 花鳥 <small>(鶏)</small>                | 8 花鳥 <small>(花)</small>    | 9 花鳥 <small>(白)</small>      |
|     | 10 花鳥 <small>(白)</small>               | 11 山水禽獸 <small>(虎)</small> | 12 山水禽獸                      |
|     | 13 花鳥 <small>(花)</small>               | 14 花鳥 <small>(鳥)</small>   |                              |
| 第一七 | 犀田文錦(主文)                               | 第一八                        | 犀田文錦(副文)                     |
| 第一九 | 大谷裂波斯錦                                 | 第二〇                        | 大谷裂波斯錦の用糸(拡大)                |
|     | 聖語藏唐経大智度論卷第一巻首 卷第四十九巻首                 | 第二一                        | 聖語藏唐経大智度論卷第六十四巻首 卷第六十五部分     |
|     | 雑集巻尾                                   | 第二二                        | 鳥毛篆書屏風 <small>(第一層上)</small> |
| 第二三 | 人勝銘                                    | 第二四                        | 金銀平文琴銘                       |
| 第二四 | 金銅雲花形裁文銘                               | 第二五                        | 赤漆欄木小横銘                      |
| 第二五 | 牙牌表                                    | 第二六                        | 牙牌裏                          |
|     | 金銀花盤銘                                  |                            |                              |
|     | 花籠銘                                    |                            |                              |

